

幡中だより

あやめ

～since 1999～

第 323 号

令和 8 年 6 月 9 日
瀬戸市立幡山中学校



ことばを越えて、心をつなぐ

瀬戸市立幡山中学校長 梶田 明敬

実際には役に立たないものや、実現不可能な計画のことを表すことわざに「絵に描いた餅」がありますが、先日、あるエッセイを読んでいて、英語では「空に浮かぶパイ」と表現することを知りました。国が違えば言葉も違いますが、どこか共通する感覚があるように感じます。しかし、言語という観点で見ると、日本語は世界でも非常に難しい言葉といわれています。何がそれほど難しいのでしょうか。発音でしょうか。いえいえ、日本語の発音は比較的単純とされており、「あ」は一つの音で表されます。では文法でしょうか。

「てにをは」といった助詞は難しいともいわれますが、性別や人数によって動詞が変化することがないため、それほど複雑であるとはいえません。実は、「語彙」と「表記」が難しさの要因だとされています。場面によって言葉を使い分ける必要があることや、「ひらがな」「カタカナ」「漢字」、さらに近年では日本発祥の「絵文字」など、使用される表記が多岐にわたることが理由のようです。

外国にルーツをもつ小中学生は全国で約 85,000 人、愛知県では約 17,000 人いるとされ**全国一位**です。瀬戸市にも約 300 人が在籍しています。来日したばかりで日本語をまったく話せない子どもたちのために、日本語初期指導教室が開設されており、数か月かけて会話の基礎を学ぶことができます。その後は各学校で学びを続けますが、本校ではこれまでは複数の学校を巡回する日本語教員が指導を担当していました。しかし、今年度からは**日本語指導教室**が設置されて、**専任教員が 1 名配属**となりました。これは、とても大きな前進です。これまでは学級担任が言語支援・生活支援・学力保障を担ってきましたが、今年度は力強いサポート体制が整いました。両親の仕事の関係で来日し、言葉も文化も大きく異なる環境の中で生活することへの不安や心配は、自分がその立場になって考えると計り知れないものがあります。私自身、バングラデシュに 3 年間住んだ経験があり、言葉の壁だけでなく、食べ物、医療、交通など生活全般の違い、さらには考え方や習慣の違いによる戸惑いやすれ違いも実際に経験しました。海外で生活することの大変さは、痛いほど実感しています。



日本語指導教室 (FUREAI ROOM)

そのような中でも、子どもたちは笑顔で元気に学校生活を送っています。時には、**文化や習慣の違い**に戸惑ったり、言葉が通じず**友達とのコミュニケーション**がうまくいかなかったりすることもあるでしょう。

しかし、そのたびに「日本語をもっと上達させたい」「自分の思いを友達にしっかり伝えたい」という強い気持ちを持ち続け、日本語の学習と教科の学びに一生懸命取り組んでいます。

さらに、子どもたちにとって大きな壁となるのが**中学校卒業後の進路**です。現在、愛知県内の公立高等学校に通う外国にルーツをもつ生徒は約 2,000 人で、これは 10 年前の約 **2 倍**に増えています。日本で高等教育を受け、その後も日本で生活していくことを選択する子どもたちが増えている表れだといえます。進学にせよ就職にせよ、異国の地で懸命に努力する子どもたちの姿をみると、私たちがしっかりと支えていかなければならないと改めて感じます。

そうした子どもたちの努力を、学校だけでなく地域の皆様にも知っていただき、温かく支えていただきたいと願っています。**国境を越えて互いの文化や習慣に関心を持ち、広い視野で物事を見つめ、考えることのできる力**は、やがて世界平和につながる大切な架け橋になるのではないのでしょうか。

中間テスト・学習コンクール

5月11日(月)～12日(火)

1限～3限

今学期最初の定期テストを行いました。1年生は12日に「学習コンクール」として、2・3年生は2日間(11日～12日)で「中間テスト」を実施しました。1年生は初めての定期テストでしたが、各々計画的に学習を進めて取り組んでいました。



学校公開(授業参観・進路説明会)

5月17日(日) 9:40～11:20

2限:進路説明会 3限:授業参観

幡山中学校の教育活動を広く知っていただく機会として、保護者・地域の方を対象に学校公開を行いました。当日は大変多くの方に足を運んでいただき、ありがとうございました。11月にも同様の公開日を予定しています。よろしくお願いいたします。



3年生 修学旅行

5月25日(月)～27日(水) 東京・千葉・神奈川方面

テーマ:「最幸～中学最後に幸せな思い出を～」

初夏の陽気と風を感じる中で、3年生は関東方面へ修学旅行に出かけてきました。初日は東京駅舎での集合写真撮影の時間に偶然、大使の信任状捧呈式の馬車列を見ることができました。2日目は、夢の国を歩き回って堪能し、ホテルの夕食ビュッフェを何度もおかわりしていました。3日目は学級ごとにバスに分乗し、博物館や史跡で学びを深めた後、新幹線とバスで帰路に着きました。良い思い出となったようです。

